

「地域の農地を活かし、担い手を応援する全国運動」により 実質化された人・農地プランを実行するための申し合わせ決議

われわれ農業委員会組織は、「地域の農地を活かし、担い手を応援する全国運動」に取り組み、地域農業の持続的な発展に向けてまい進している。

令和元年度以降、農業委員・農地利用最適化推進委員は、「人・農地プラン」を実質化するため、「農地所有者等の意向把握」と「集落での話し合いへの参加」に積極的に取り組んできた。

「人・農地プラン」によって定められた将来の地域の農地利用を実現すべく、農地利用の最適化に取り組むことをここに申し合わせ決議する。

記

1. 「人・農地プラン」の実質化を踏まえた農地利用の最適化に全力で取り組もう

(1) 「人・農地プラン」を実現するため、農地の利用調整とマッチングに取り組もう

実質化された「人・農地プラン」に位置づけられた中心経営体等への農地の利用調整やマッチングに積極的に取り組もう。

担い手同士の話し合いによる農地の利用権交換等の手法により、農地の集積はもとより集約化の取り組みを強化しよう。

(2) 農地中間管理機構との連携を強化しよう

農地の利用意向等の情報は農地中間管理機構と共有し、農地中間管理事業を通じた農地の利用調整を実施しよう。

後継者のいない担い手等の中心的な経営体の離農に備え、農地中間管理機構への貸し付けを進めよう。

担い手不足が顕著な地域では、集落のすべての農地を農地中間管理機構に貸し付ける「地域まるっと中間管理方式」の導入を検討しよう。

(3) 「人・農地プラン」を作成していない地域に作成を働きかけよう

担い手不足等の理由によって「人・農地プラン」に取り組んでいない地域に対しては、関係機関・団体と協力して作成を働きかけよう。

農業委員会は農業者や農地所有者等の意向把握を実施して、将来を考える機運を醸成しよう。

(4) 「人・農地プラン」の見直しを継続しよう

実質化した「人・農地プラン」が地域の実態に合うよう、集落の話し合い等が継続するように働きかけよう。

農業委員・農地利用最適化推進委員は、見直しが前向きなものとなるように、積極的に発言しよう。

2. 農業経営の合理化と働きがいのある経営環境作りを支援しよう

認定農業者等の担い手の組織化と組織活動を支援するとともに、農業者に対する簿記記帳・青色申告の啓発・普及、法人化の指導等による経営確立の取り組みを推進しよう。

また、農業・農村における男女共同参画や労働環境の改善に向けた家族経営協定の普及推進、老後生活の安定のための農業者年金の加入推進の取り組みを強化しよう。

3. 農業者の声、地域を「意見の提出」に取りまとめよう

戸別訪問等の日常活動の中から農業・農村の問題を幅広く汲み上げ、全ての農業委員会において、農業委員会法第 38 条に基づく市町村等行政機関に対する「意見の提出」をはじめとする政策提案や要請活動に取り組もう。

4. 農業委員会の体制強化に努めよう

(1) 綱紀保持の取り組みを徹底しよう

農業委員会が担っている職務と責任を自覚し、法令に則り適正に農地制度を運用するとともに、法令遵守と倫理観を高めるための研修を実施しよう。

(2) 農業委員会活動の進捗管理を徹底しよう

農業委員と農地利用最適化推進委員は活動記録簿や活動日誌等の記帳を徹底するとともに、各委員の活動状況を委員会内で共有しよう。

また、農業委員および農地利用最適化推進委員の改選に伴う引き継ぎを確実にし、切れ目の無い農業委員会活動に万全を期そう。

(3) 女性や若い農業者の登用を促進しよう

女性や若い農業者の登用に向け、市町村長等への働きかけを一層強化しよう。また、積極的に公募に応じたり、地域の農業者・団体から推薦を得られる人材の育成・発掘のため、農業委員会活動に対する女性や若い農業者の関心を高

める取り組みを強化しよう。

(4)ICTを活用した農業委員会活動に取り組もう

タブレットやドローン等を活用した効率的な農地パトロール(利用状況調査)に取り組もう。

また、新型コロナウイルス禍のもと、総会等がテレビ会議等オンライン上で実施できる環境整備について、実情に合わせて市町村等の協力要請に取り組もう。